

今月号の紙面

令和4年度東京都予算の概要... 2面
地域団体・工団連活動報告
舟久保副会長年頭講話... 3面
工団連事業・会議等案内
機関紙工団連600号発行に寄せて
令和3年度会長表彰受賞者一覧... 4面
連載企画「企業リレー探訪(富坂産業協会)

工団連

発行所
一般社団法人 東京工業団体連合会
東京都中央区銀座2-10-18
東京都中小企業会館5階
電話 (03) 3546-2525
FAX (03) 3546-2853
(購読料1部100円、年間600円 会費より徴収)
https://www.tokyo-koudanren.or.jp

令和3年度

東京工団連会長表彰

永年勤続、功績を
たたえ88名を表彰

48回目となる東京工団連会長表彰の受賞者とその功績を讃え表彰状と記念品が贈られた。(受賞者名簿は4面) 本年度の表彰対象は、団体役員表彰13名、従業員表彰75名、団体職員表彰2名の計88名である。

本年度も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け残念ながら1月27日に予定されていた表彰式典・新年賀詞交歓会の一連の式典・行事が昨年を引き続き中止となった。式典当日に向けて、準備が進められていた最中でもあったがオミクロン株の急激な感染拡大に伴い中止の決断に至った。晴れの表彰式典参加を楽しみにしておられた受賞者、関係者の皆様には誠に申し訳なくこの場をお借りし改めてお詫び申し上げます。



過去の表彰式典の様子

なお、受賞者の選定業務は例年どおりの日程「手続」を進められた。
◆会長表彰実施決定 (正副会長会議)
令和3年10月7日
◆会員団体事務局への説明(第2回参与会)
10月15日
◆各団体にての受賞候補者への案内及び申請受付
10月~11月末
◆申込締切り(工団連事務局)
12月1日
◆受賞候補者の審査・決定(正副会長会議)
12月3日

工団連会長の廣瀬でございます。
工団連会長表彰にあたり、一言お祝いを申し上げます。
この度、役員、従業員、並びに団体職員の永年勤続表彰を受賞されました皆様に対して、先ずもって心よりお祝いを申し上げます。



祝 辞
それぞれの立場で地域産業振興に貢献
一般社団法人・東京工業団体連合会
会長 廣瀬 隆博

◆表彰式典(中止)
令和4年1月27日
賞状、記念品発送
令和4年1月26日
《表彰基準(年数)》
◆役員表彰
・ 10年勤続
・ 10年以上20年未満
・ 20年以上30年未満
・ 30年勤続
・ 30年以上40年未満
・ 40年以上50年未満
・ 50年以上60年未満
・ 60年以上70年未満
・ 70年以上80年未満
・ 80年以上90年未満
・ 90年以上100年未満

また、表彰者のご推薦に尽力いただきました所属企業、地域会員団体関係者の皆様、厚くお礼申し上げます。
今回受賞されました役員の方々は、永年にわたり、工業・産業団体の役員として、一貫して地域の産業振興に多大な貢献をされ、自社の健全経営にたいへん努力をされてこられた皆様でございます。
今日の所属企業、地域工業・産業団体の繁栄は皆様のたゆまぬ努力のたまものであり、そのご労苦に対して深く敬意を表しますとともに、工団連への日頃のご協力に對しても、心からお礼を申し上げます。

平成の時代は、バブル景気後の失われた20年といわれる長い景気低迷経済が続いた時代でした。皆さんは、そのような時代を様々な部署でご苦労しながら会社・団体の発展のために尽力されてこられました。

このたび、会長表彰を受けられた皆様、本当におめでとうございませう。皆様は地域団体の役員や職員として、また会員企業の従業員として、永年勤続の功績を上げられたこと、誠にありがとうございます。

このたび、会長表彰を受けられた皆様、本当におめでとうございませう。皆様は地域団体の役員や職員として、また会員企業の従業員として、永年勤続の功績を上げられたこと、誠にありがとうございます。

このたび、会長表彰を受けられた皆様、本当におめでとうございませう。皆様は地域団体の役員や職員として、また会員企業の従業員として、永年勤続の功績を上げられたこと、誠にありがとうございます。



祝 辞
東京を支える「ものづくり」
東京都産業労働局
商工部長 緑川 武博

このたび、会長表彰を受けられた皆様、本当におめでとうございませう。皆様は地域団体の役員や職員として、また会員企業の従業員として、永年勤続の功績を上げられたこと、誠にありがとうございます。

このたび、会長表彰を受けられた皆様、本当におめでとうございませう。皆様は地域団体の役員や職員として、また会員企業の従業員として、永年勤続の功績を上げられたこと、誠にありがとうございます。

このたび、会長表彰を受けられた皆様、本当におめでとうございませう。皆様は地域団体の役員や職員として、また会員企業の従業員として、永年勤続の功績を上げられたこと、誠にありがとうございます。

このたび、会長表彰を受けられた皆様、本当におめでとうございませう。皆様は地域団体の役員や職員として、また会員企業の従業員として、永年勤続の功績を上げられたこと、誠にありがとうございます。

このたび、会長表彰を受けられた皆様、本当におめでとうございませう。皆様は地域団体の役員や職員として、また会員企業の従業員として、永年勤続の功績を上げられたこと、誠にありがとうございます。

令和4年度 東京都予算の概要

東京都は1月28日に令和4年度予算原案を発表した。今回の、一般会計の予算規模は7兆8,010億円(前年度比+3,760億円5.1%増)、政策的経費である一般歳出は5兆8,407億円(前年度比+2,286億円4.1%増)で過去最大の予算となった。また、都税収入は、企業収益の持ち直しによる法人二税の増などにより約5,900億円の増加(+5,858億円+11.6%)となり令和2年度に次ぐプラスとなった。



令和4年度予算等要望の様子

予算案の編成方針を、『都政に課された使命を確実に果たし、次なるステージへと力強く歩みを進めること』で、希望ある未来を切り拓いていく『算』と位置づけ、次の点を基本に編成されたとしている。

①「感染症の脅威」など大きな危機を克服するとともに、誰一人取り残すことのない、持続可能な都市へと進化させる「サステナブル・リカバリー」を実現するため、大胆な発想で果敢に取組を進めていくこと

②社会変革に適応した制度や仕組みへの抜本的な見直しを進めることも、事業の見直しを一層強化し施策の新陳代謝を促すことにより、将来にわたる財政の対応力を堅持すること

③東京2020大会に向けて磨き上げてきた数々の取組を都市のレガシーへと発展させ、都民の豊かな生活につなげていくこととした。

歳出を目的別にみると、前年度と比較して「福祉と保健」が4,128億円、31.8%の増、「生活環境」が796億円、40.1%の増となり、「生活環境」が796億円、40.1%の増となり、限りある財源を重点的・効率的に配分し、都民生活の質の向上に努めたとしている。

更にその中で、主要な予算建てを具体的にみると、我々に最も関係の深い産業労働分野(労働と経済)には一般会計で5,764億円が計上されており新型コロナウイルス感染症対応に係る中小企業制度融資の増額や、ファンドによる脱炭素ベンチャー支援の開始などにより対前年比43.3%増(対前年比40.1%増)となっている。

また、中小企業のオンライン・ECCサイト・デジタル技術等活用各種事業や躍進的推進のための設備投資支援事業などにも予算が計上されている。

《一般歳出の分野別の予算は次のとおり》

- 福祉と保健
 - 【1兆7,107億円】(対前年比31.8%増)
 - 【教育と文化】(対前年比17.7%増)
 - 【1兆1,771億円】(対前年比1.0%減)
 - 【5,764億円】(対前年比8.1%増)
 - 【生活環境】(対前年比7.8%増)
 - 【2,783億円】(対前年比40.1%増)

都市の整備

- 【8,491億円】(対前年比2.5%増)
- ・警察と消防 (対前年比0.9%増)
- 【9,115億円】(対前年比0.9%増)
- 企画・総務 (対前年比50.7%減)
 - 【3,376億円】(対前年比50.7%減)
 - ・工団連の予算要望に対しては、1月28日に東京都から廣瀬会長に関連事項も含めて回答があった。
 - 主な関連事項は、①新型コロナウイルス感染症対策
 - ・中小企業制度融資3,270億円
 - ・中小企業制度融資(136億円増)
 - ②中小製造業の事業継続
 - ・中小企業技術活性化支援事業 (3.8億円)
 - ・市場開拓助成事業 (1.8億円)
 - ・ものづくりイノベーション企業創造道場 (0.8億円)
 - ・TOKYO戦略的イノベーション促進事業 (8.3億円)
 - ・躍進的推進のための設備投資支援事業 (10.1億円)
 - ・多摩ものづくりコミュニティ組成支援事業 (0.9億円)
 - ・中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業 (12億円)
 - ・事業承継・再生支援事業 (5.4億円)
 - ③ものづくり人材の育成
 - ・働きやすい職場環境づくり推進事業 (5.6億円)
 - ・中小企業人材スキルアップ支援事業 (3.5億円)
 - ・能力開発訓練 (9.2億円)
 - ④中小製造業のネットワーク強化

地域団体からの活動報告

各地域団体が「ものづくり基盤技術強化支援事業」補助金活用で活発に活動を展開。一方新型コロナウイルス感染症急拡大(第6波進行)で活動に大きな影響。

工団連加盟の地域団体が「展示会」に出展し活動なものをづくり支援活動を展開したが、「ものづくり基盤技術強化支援事業」の助成制度を活用した活動を紹介します。

(公財)世田谷工業振興協会は「産業交流展2021」にオンライン出展し期間中多数の来場者に積極的なPR活動を展開した。本展はリアル展示とオンライン展示のハイブリッド展として開催されたが、同会はワークショップ空間に仮想アーチャール空間に仮想PRスペースを設置し活動をPRした。今回は助成金を活用し、自団体紹介の動画コンテンツを新たに制作し活動に臨んだ。更に展示会終了後も団体ホームページや今後参加するイベントにアピールした。

大田工業連傘下の(一社)大森工場協会は1月13日に「新春ものづくり講演会」を開催した。

講演会は「東京・下町町工場の挑戦!!」と題して、(株)浜野製作所代表取締役浜野慶一氏より熱気溢れる発表がなされ、参加した多くの会員企業

工団連と地域会員 団体共催研修開催のご報告

1月14日工団連と(公財)世田谷工業振興協会が本年度3回目となる共催の講演会を開催した。

講演会は「新春経済講演会」2022年への視座 世界と日本と世田谷への想いと題して「(一社)日本総合研究所会長「多摩大学学長」寺島実郎氏よりなされた。同氏は政治・経済問題のエキスパートとして評論・執筆活動等マスコミでも活躍中である。当日は「コロナの教訓」「コロナ後の世界展望」等について世田谷在住者としての目線も含め、豊富な経験と知識に裏打ちされたコロナ禍における最新の情勢的確かつ具体的な分析とヒントが提起された。

新型コロナウイルス感染症対策から会場とオンラインの両方で参加可能なハイブリッド方式で開催され、会場の世田谷文化生活情報センター生活工房セミナールームには3密回避のための様々な対策が取られる中、会員・行政関係者他に一般区民が来場また、オンラインサイトからも多数が視聴し関心の高さが伺えた。

あいにくのオミクロン株拡大の状況ではあったが熱気あふれる1時間強に亘る講演に参加者は熱心に聴き入っていた。

昨年2回にわたって開催された「新時代！環境経営と企業力改善セミナー」から引続くもので、あらためて新型コロナウイルスを契機とした社会の変化を考察する機会となった。

工団連では地域団体との共催講演会を推進しており各団体からの申請をお待ちします。

「問題解決研修」報告

工団連では、2月22日「問題解決研修」を開催した。会員企業の中堅社員の方々は先生の講義に、またグループワークにと真剣にまた積極的に取り組んでいた。

本研修は、工団連が主催する令和3年度研修企画第4弾として各地域32会員団体事務局の協力により開催した。

今回はコロナ禍の影響がやや落ち着いた見通しは不透明であるが、工団連では来年度も引き続き「ものづくり基盤技術強化支援事業」「専門家派遣事業」「依頼試験等助成事業」の3事業を柱として地域団体・会員企業への支援を継続する。皆様の積極的な活用をお願いします。

心に残り入っていた。昨年2回にわたって開催された「新時代！環境経営と企業力改善セミナー」から引続くもので、あらためて新型コロナウイルスを契機とした社会の変化を考察する機会となった。

工団連では地域団体との共催講演会を推進しており各団体からの申請をお待ちします。

世田谷工業振興協会3密回避の講演会の様子

能力向上訓練 (3.4億円)

地域工業連携強化支援事業 (0.5億円)

- ・地域工業連携強化支援事業 (0.5億円)
 - ・ものづくり人材の育成
 - ・働きやすい職場環境づくり推進事業

世田谷工業振興協会3密回避の講演会の様子

能力向上訓練 (3.4億円)

地域工業連携強化支援事業 (0.5億円)

世田谷工業振興協会3密回避の講演会の様子

能力向上訓練 (3.4億円)

地域工業連携強化支援事業 (0.5億円)

世田谷工業振興協会3密回避の講演会の様子

能力向上訓練 (3.4億円)

地域工業連携強化支援事業 (0.5億円)

世田谷工業振興協会3密回避の講演会の様子

能力向上訓練 (3.4億円)

地域工業連携強化支援事業 (0.5億円)

世田谷工業振興協会3密回避の講演会の様子

副会長年頭講話

賀詞交歓会は残念ながら中止となりましたが、前会長の舟久保利明氏にお願いしていた講話の一部を掲載します。

東京工団連副会長

舟久保 利明

副会長から会長へ
私は、工団連に就任しては副会長4期、会長3期、そして現在副会長を務めさせていただいています。

副会長3期目の終わりのころ、当時の宇野澤会長から都庁内のコピーショップで「次期副会長を引き受けてほしい」と突然言われました。私は、「これまでの工団連の会長に中小企業の社長が就任した前例がない」と申し上げましたが、会長は「いろいろあるが、早稲田から慶応へのバトンタッチと捉えていただければ」と冗談も本音もつかぬことを言われ、翌日承諾の返事をしたことを昨日のように思い出します。

期間中の主な取組

副会長時代、「業務委託」を期待して活動



副会長時代、「業務委託」を期待して活動

団連の存在を知ってもらうための傘下団体への総会・新年会・忘年会出席、都の行事への出席はもちろんのこと、工団連会長としての都からの充て職もありました。東京都中小企業振興公社評議員、一般社団法人就労支援機構理事、「花粉の少ない森づくり運動推進委員、Tokyo技能五輪・アピリンピック2021推進協議会委員、その他が出席する中で工団連の存在や役割をアピールすることができたと思っております。取り組みに当たっては、都政に精通されている都職員OB(殆どが東京都産業労働局関係)の代々の事務局長が大きな支えでありました。

例年の新年会の講演から目先を変えてプロのミュージシャンを招いたこともありました。

小池知事との予算要望会議では、最初は事務局任せでしたが、途中から、会長として仕切らせていただきました。特に、私のライフワークでもある「キャリア教育」や「職業訓練」に関して、知事の興味を引いていたように思っています。

他にも話したい事が多々ありますが、今後都合等で皆さんと雑談できればと思います。

最近では、コロナ禍の中で、あらゆる会議がリモート化し、血の通った議論ができなくなってきた

今後は、様々な技術を駆使し、広瀬会長を中心とする工団連の活動が途切れなく続くことを願ってやみません。

7階マーガレット
令和4年度第1回副会長会議・理事会
日時：令和4年5月13日(金)
14時30分～17時
会場：東京都中小企業会館9階講堂
会館9階講堂

令和3年度において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンライン方式に変更したが、令和4年度は会場方式での開催として準備中。

工団連からのお知らせ

工団連の事業・行事・会議予定

「新入社員合同ビジネス マナー研修」開催

工団連は会員企業の新入社員を対象としたビジネスマナー研修を32地域団体共催で実施する。

- ・ビジネスメール
- ・報連相
- ・WEB会議マナー
- ・コンプライアンス

【実施日】
4月4日(月)～5日(火)
【実施時間】2日間共
9:30～17:00
【会場】東京都中小企業会館9階講堂・中央区銀座2-10-18
【募集人員】30名
【参加費】8,000円

【第3回参与会】
日時：令和4年3月10日(木)
15時～17時
会場：東京都中小企業会館9階講堂
【第5回正副会長会議・第2回理事会】
日時：令和4年3月24日(木)
14時30分～17時
会場：銀座プロツサム

【第63回工団連通常総会】
日時：5月27日(金)
総会：15時30分～
懇親会：16時30分～
会場：銀座プロツサム
7階マーガレット
尚、各会議の詳細は別途ご案内しますが、今後のコロナウイルス感染症拡大の動向を注視して最終判断いたしますのでご承知置きください。

その後、フランクット版がしばらく続きましたが、昭和50年1月号(153号)よりタブロイド版(現在と同サイズ)に変更され平成10年5月(434号)迄続きま

6000号記念号発行

機関紙工団連の発刊史概観

機関紙工団連は本号で通巻6000号となりま

昭和37年後半(10月前後)と推定)

昭和45年8月初旬(バックナンバーなし前後より推定)

昭和53年12月10日(バックナンバー有り)

昭和62年4月10日(バックナンバー有り)

昭和70年7月10日(バックナンバー有り)

平成17年7月10日

【主な研修内容】

＜1日目＞

- ・仕事がつましくいくビジネスパーソンとは
- ・ビジネスマナーとは
- ・第一印象の重要性
- ・挨拶・態度
- ・身だしなみ
- ・敬語の基本

＜2日目＞

- ・電話対応の基本
- ・上座・下座・名刺交換
- ・お出迎え・訪問

◆創刊号

◆500号

◆400号

◆300号

◆200号

◆100号

◆50号



(200号 300号 400号 500号紙面)

東京ビッグサイトイベント案内(令和4年3月～5月)

※ものづくりに関連するイベントのみ掲載しています。
※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、スケジュールは変更になる場合がございます。必ずHP等でご確認下さい。
東京ビッグサイトイベントウェブサイト：http://www.bigst.jp/event/

会期	来場区分	イベント名	主催者	問合せ先
3/9(水)～3/12(土)	商談/一般	2022国際ロボット展	RX Japan(株)	*
3/16(水)～3/18(金)	商談	第33回日本ものづくりワールド	RX Japan(株)	03-3349-8506
		第33回設計・製造ソリューション展(DMS) / 第29回3D&ヴァーチャルリアリティ展(IVR) / 第26回機械要素展(M-Tech) / 第12回ヘルスケア・医療機器開発展 / 第4回次世代3Dプリンタ展(通称:AM Japan) / 第4回工場設備・備品展(FacTex) / 第4回航空・宇宙機器開発展(AeroTech) / 第4回ものづくりAI/IoT展 / 第3回計測・検査・センサ展(メジャーテック)		
4/6(水)～4/8(金)	商談	第18回スマートエネルギーWeek(春)	RX Japan(株)	03-3449-8576
		第18回FC EXPO【春】～[国際]水素・燃料電池展～ / 第15回PV EXPO【春】～[国際]太陽光発電展～ / 第13回[国際]国際二次電池展(春)～バッテリージャパン～ / 第4回資源循環EXPO / 第1回脱炭素経営EXPO【春】		
4/20(水)～4/22(金)	商談/一般	Medical Electronics Expo 医療用エレクトロニクス展 / Medtec Japan 医療機器の製造・設計に関する展示会・セミナー	インフォーマ マーケッツジャパン(株)	*
4/22(金)～4/23(土)	商談/一般	第48回ジャンボびっくり見本市	ジャンボびっくり見本市協賛委員会	06-6533-6266

令和3年度

(一社)東京工業団体連合会会長表彰受賞者名簿

令和3年度(一社)東京工業団体連合会会長表彰受賞者全88名(役員表彰の部13名・従業員表彰の部73名・団体職員表彰の部2名)は左記のとおり。(敬称略)

役員表彰の部13名

齊藤弘樹、安永修、松尾隆子、緑川朋子

【葛飾区産業連盟】

【(一社)富坂産業協会】

橋本精密工業(株)

【(一社)文京区商工協会】

目黒信用金庫

【(一社)目黒区産業連合会】

鈴木徹章工業(株)

【(一社)和同会】

ワッティー(株)

【(一社)目黒区産業連合会】

明真商事(株) 宮川恒典

【(一社)品川産業協会】

杉浦電機(株) 杉浦俊彦

【(一社)練馬産業連合会】

新栄工業(株)

【(一社)大田工業連合会】

みずぎ工業(株)

【(一社)練馬産業連合会】

岡田鋳金(株) 増田道造

【(一社)練馬産業連合会】

株コルノマカロニ

【(一社)大田工業連合会】

株秋山

【(一社)大田工業連合会】

【(一社)戸塚落合経営協議会】

【(一社)大田工業連合会】

株アリミノ 河邊広明

【(一社)大田工業連合会】

山本 亮 西村展弥

【(一社)大田工業連合会】

松本由紀子

【(一社)大田工業連合会】

飯島耕太郎、望月章雅

【(一社)大田工業連合会】

沼田智彦、今野由香

【(一社)大田工業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

【(一社)板橋産業連合会】

88名に表彰状と記念品

第20回たまた工業交流展開催中止のお知らせ

3月3日(木)~4日(金)の2日間開催が予定されていた第20回たまた工業交流展は、新型コロナウイルス対応の「まん延防止等重点措置」の延長により中止と決定しました。本展示会は、多摩地域最大のものづくり展示会で、多くのものづくり中小企...

情報収集に「工団連HP」を活用ください

工団連では地域会員団体や傘下会員企業の皆様への情報発信力強化を目指しHPの改定を随時進めています。本年度は7年振りに全面改訂に向け作業を進めており新年度より公開を予定しています。主な改良点として、ページの整理・集約により情報の提供や検索のし易さの向上、デザインの更新による見易さの向上などが...

地域団体事務所移転のお知らせ

【(一社)板橋産業連合会】は、本部建物老朽化による建替えに伴い、令和4年1月5日より事務所を仮移転致しました。移転の期間は令和6年3月下旬迄の予定で...



岩井良夫社長

岩井建設株式会社

代表取締役社長 岩井 良夫

企業リレー探訪

20

創業100年に向けて

弊社は、今年で創業99年、会社設立61年になる総合建設業です。東京都文京区に本社を構え、多摩市と埼玉県吉川市にも営業所を設け、首都圏内において、建築の施工・設計・リニューアル工事を手掛けております。創業者である祖父は、大正12年9月1日、浅草で関東大震災に被災し、復興に必要な住宅用の建具を出身地である愛知県から取り寄せたことを契機とし、事業を興しました。その事業を発展させるべく、父は昭和36年に建具業から総合建設業への転換を志し、弊社を設立しました。父が会社設立時に掲げた基本方針は、「信用第一、堅実経営、現金支払」の3つで、現在でも強く引き継がれております。当時の建設業界では、協会の全額現金で小企業への資金繰りに大変苦労したそうですが、支店の良さを協力会社との信頼関係が厚く、コスト削減・品質向上に大いに寄与しました。私は、父の後を継ぐ形で、平成13年に社長に就任し、弟の専務と苦業を共にしながら経営に携わってきました。これまで、多くの方々と出会い、数多くの建築作品に関わって参りました。弊社は、今年で創業100年に向けて、3つの方向性の内、最も大切な「信用第一」なのだ、とつくづく感じております。そして、その「信用第一」とは、お客様のみに留まらず、協力会社にも、経営者と社員間にも大切なものであり、どれ一つ欠けても良い作品は生まれません。多くの方々に支えられ、生かされていることに感謝しながら、信用を重んじ、長期的視点で経営していくことが建築業にとっては何よりも大切であり、来年創業100年を迎えて、なお一層の努力を重ね、末長く愛され続ける企業でありたいと願っております。



成城KSコート



アーバンツリー白山



CLT PARK HARUMI

所属団体: (一社) 富坂産業協会
創業: 1923年10月
資本金: 3,800万円
事業内容: 総合建設業
各種建築物(住宅施設、業務・商業施設、公共施設等)の施工・設計・リニューアル工事
ホームページ: http://www.iwaikensetsu.co.jp